

株式会社 産業経済新聞社 サンケイスポーツ

メディアコミュニケーション学部マス・コミュニケーション学科

2年 入井 優樹

1. 実習企業（団体）の概要

産経新聞社は、フジサンケイグループの中心となる1社で、子会社22社と関連9社からなる産経新聞グループを構成している。サンケイスポーツは1955年2月に大阪、1963年2月に東京で創刊された。その産経新聞社が発行するスポーツ新聞、通称サンスポは時代の変化を敏感に捉え、ますます多様化する顧客のニーズに柔軟に対応している。

- ・創刊 1933年6月20日(産経新聞の前身である「日本工業新聞」を大阪で創刊)
- ・設立 1955年2月15日
- ・資本金 31億7219万8500円 ・従業員数 1863人(2016年3月31日現在)
- ・所在地 東京本社 東京都千代田区大手町1-7-2
大阪本社 大阪市浪速区湊町2-1-57
- ・代表取締役会長 太田 英昭 ・代表取締役社長 熊坂 隆光

3. 実習内容

22・23日は大手町にある産経新聞社の本社にて会社概要の説明を受けました。編集局では運動部や文化報道部などに分かれており、1日に複数回の会議を行うなどして紙面作成を行っていることを知ることが出来ました。27・30日は現場に行って記者席から試合を見させていただき、また、ミックスゾーンなどで選手や監督のインタビューを行っている場所へ実際に入って、取材をしている様子を見学させて頂きました。

3. 実習の成果

今回、初めてインターンシップというものに参加させて頂き、全くもって知らなかった新聞社に関する知識などを得ることが出来た事が一番の収穫であると感じています。そして色々と説明を受けている中で1番印象に残っている事は「良い記事を作り上げるには文章力よりも取材力が大事」という事でした。他社などの記者が聞く事が出来ていない、知らない話を自分がどれだけ引き出せるかという部分が記者としてのやりがいにも繋がっているのだと感じました。勿論、文章力も大事だとは思っていますが、聞き手からネタを引き出す為の話し手としてのスキルを今後は身に付けていかなければならないと感じさせられました。また、今回は本社で2日間の説明を受けたのちに、日産スタジアムと東京ドームという現場に行かせて頂き、そこで記者の方々の行動などを間近で見ることが出来ました。監督や選手の声を聞くために様々な場所を走り回り、時間に追われながら原稿を仕上げて会社へ送るという姿をこの目で見た時に、1分、1秒の大切さを感じました。

4. 実習の感想

まず1番最初に、産経新聞社の本社や日産スタジアム、東京ドームの記者席などに入ることができた事がとても恐れ多きことであったと感じています。それと同時に、いずれはこのような職業に就きたいという思いが以前よりも強くなりました。今回のインターンシップで「記者として仕事をする為には何が大事か」という事を実際の現場に立っている方々からお伺い出来たのは、今後の自分自身にとっての大きな収穫でした。また、「自分自身に何が足りないのか」というのを明確にすることが出来ました。

最後に、このインターンシップに参加させて頂ききっかけとなったYell Sportsでの

1回目の紙面作成において得た知識と今回のインターンシップで得た知識を合わせて、今後のYell Sportsでの紙面作成及びマス・コミュニケーション学科の演習実習などに取り組んで行き成長出来ればと感じています。

— 実習プログラム —

日数	実習日	実習内容
1日目	8月22日(月)	産経新聞社・編集局に関する説明
2日目	8月23日(火)	産経新聞社・営業局に関する説明
3日目	8月27日(土)	日産スタジアムにて取材風景及び試合見学・説明など
4日目	8月30日(火)	東京ドームにて取材風景及び試合見学・説明など